

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/3/9

No. 31

賛同署名総数は	3/8まで	167,890	筆 筆 筆
*オンライン署名		5,896	
*署名用紙署名		161,994	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の
海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。

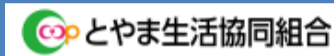


オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。



スマホはこちらから

【協力団体インタビュー】富山県の皆さんに伺いました。
富山県生活協同組合連合会 若林 徹 専務理事
生活協同組合CO・OPとやま 理事会事務局 黒河 一峰 係長
富山県生活協同組合 組織ネットワーク部 森内 紀之 部長代理
・2022年4月1日、富山県生協とCO・OPとやまは合併し「とやま生活協
同組合」が誕生します。



富山県生活協同組合連合会



・若林さん ・黒河さん ・森内さん

Q1、ALPS処理水海洋放出決定の発表を受けどのように感じましたか
(若林さん)スピード、低コスト優先で決定したような印象で、どこまで話し合いが持たれたのか疑問でした。もっと時間をかけて、安全に配慮した方法を話し合いながら導き出してほしいです。東日本大震災以降大変な苦勞をしてきた漁業に追い打ちをかけるような方法ではなく、違う視点で考え、国としてみんなが納得する方法を考え、開発してほしいです。
(森内さん) ニュースで知りましたが、大々的に取り上げられることは少なく「始まるんだな」と最初は軽く捉えてしまっていました。
(黒河さん) 富山では情報が少なく経過がよく分からなかったのですが、どのように合意されたのか疑問に感じ、強引さが気になりました。

◆富山との関わり/あの時も、そして今もお世話になってます。
「富山県生協せいきょう祭り2012」に福島復興応援企画として参加させていただきました。まだまだ福島県内でも県産品への風評が根強かった時期に応援の声をいただき大変ありがたかったです。出店し、富山の皆さまと交流することで元気を取り戻すことができました。その後も継続しての福島視察や夜の森の桜植樹などたくさんのご支援をありがとうございます。



2012/10/13-14 けんせいきょう祭り2012
福島復興販売コーナーに出店 応援いただきました。

Q2、4団体による「ALPS処理水海洋放出に反対する署名」開始を聞いた時はどのように感じましたか
(若林さん)県連としては東日本大震災以降、全面的に福島を支援する方針です。連合会として一貫している部分なので、富山県としても学習しながら協力しようと思いました。
大学生協、医療生協、全労済、高齢者・障害者福祉生協など9つの会員生協に呼びかけ、漁連など加盟団体でも署名用紙を配布してもらい、各々組織的に取り組みました。



Q3、どのような方法で署名活動を進めましたか
(森内さん)署名方法はオンラインと用紙の2種類ありましたが、署名用紙は組合員全員に配布しました。用紙だけでは主旨が伝わりにくいので、機関紙に掲載して署名用紙をセットしたり、コープおいたの学習会にも参加し、学習が署名記入に結び付くよう工夫しました。
(黒河さん)宅配利用組合員全員に配布しましたが、富山県は「ALPS処理水」に馴染みがないので、まずは事務局、役職員、組合員中心層が理解して、組合員に署名してもらえるよう取り組みました。コープおいたの学習会へも参加を呼びかけ、学習会に参加した方は「ぜひ署名したい」と話していました。少しずつ署名数が増えていったので、お知らせ方法を工夫すればもっとたくさんの方に署名していただけたのではないかと考えています。

Q5、本取り組み呼びかけ団体やふくしまへのメッセージ
(若林さん)富山県の合言葉は「福島を忘れない」。この想いはずっと変わりません。富山は情報が少ないので、福島状況について組合員にお知らせし、加盟団体、消費者団体にお知らせしていくのが連合の役割だと思っています。
(黒河さん)東日本大震災からまもなく11年ですが、この間ずっと福島の報告会や学習会を開催してきました。組合員からは「継続」を求める声が出ています。福島と一緒に力を合わせて出来ることに取り組んでいけたらと思います。この思いに応えてくれる組合員がいることが宝ですね。
(森内さん)東日本大震災以降、何度も福島を訪問しており「忘れないでほしい」という言葉がとても耳に残っています。2019年訪問時に相馬双葉漁協さんで伺った試験操業の話の思い出すと、アルプス処理水海洋放出によって懸念される風評被害はとて耐えがたいことだと思います。こういったお話を直接聞かせていただいた我々は、富山でしっかり伝えていく必要があると改めて感じました。寄り添い続け、今後も一緒にできることがあれば取り組んでいきたいです。

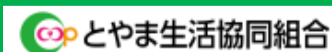
Q4、署名運動に対する組合員さんの反応はいかがでしたか？
(森内さん)署名数が増えると思いましたが、意外に伸びませんでした。富山県民からすると「ALPS」はおいしい水のイメージ。何がダメなのか、見えない部分が伝わりにくいと感じています。地道に学習会を開催し、伝えていくことが大切だと感じています。
(黒河さん)原発が必要だと思っている人もいますし、処理水放出は仕方ないと思っています。色々な考えの方がいますが、事実を知らせる必要があると思います。「ALPS処理水海洋放出」問題はむずかしく、富山では判断しきれない部分もありますが、関心を持っている人もいますので署名数につなげていきたいです。

富山県生協・CO・OPとやま 主催で
2/19「福島の今を知る報告学習会」を開催いただきました。
オンラインでふくしま県本部の宍戸副本部長が講師として話をしました。



＜参加者の声＞
・今起きていることを現実としてどう対処していくかが大切である。危険だと思っているのにどうしてこんなことができるのか不思議である。しっかり学習してダメと声を出していくことが大事です。・長時間経過しても難しい課題だと考えています。処理水の海洋放出に反対です。絶対に、いけないことはいけません。
・署名用紙は持ち帰り家族にも紹介します。

◆2022年4月「とやま生活協同組合(とやま生協)」誕生。
富山県生活協同組合とCOOPとやまは合併一つの生協になります。
両生協には何度も福島視察に来ていただき、思い出話は絶えません。
新生協誕生おめでとうございます。



◇若林さん、黒河さん、森内さんありがとうございました。
東日本大震災以降、継続したご支援をいただき、10年間のつながりを感じながらのインタビューとなりました。2/19には「福島の今を知る報告学習会」を開催いただきありがとうございました。福島から遠く離れた地での署名活動はご苦勞も多いと思いますが、様々な考えながら署名を進めてくださっている様子が伝わってきました。「組合員を大切にしていきたい」というストレートな思いがとても素敵な富山のお三方でした。
◆思い出話＝お酒の話!!
訪問・受け入れの際、富山のお酒と福島のお酒の交換はもはや恒例行事。
富山と福島の絆を強くした一因とも言える日本酒、また酌み交わしたいですね～by宍戸



【学習会を考えられている皆様へ】学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 宍戸)

＜情報・お問い合わせ先＞

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)



＜編集後記＞erikoのつぶやき

日に日に変化するウクライナ情勢。連日の報道に胸を痛めている方も多いと思います。なぜ戦争は起きるのか。なぜ戦争はなくなるのか。国を守るため、思想を守るため、命を賭して戦うことが正義なのか。武力を持って立ち上がることが美化されそうで、複雑な気持ちになります。
戦争を知らない自分には想像してもしきれないですが、命よりも大切なものはないと思いたい。
1日でも早く事態が収束し、ひとつでも多くの命が救われますように。

